

TOKYO TAMA 2020 LEGACY ROAD



私たちの街、 いつもの道、 自転車の聖地。

東京2020大会自転車競技ロードレース。
世界各国のライダーが駆け抜けたあの日のコースのうち、
8市にまたがる約38kmを「東京多摩2020レガシーロード」と名付けました。

地域の誇りとして語り継ぐために。
自転車を通して豊かな社会を構築するために。

八王子市、三鷹市、府中市、調布市、町田市、小金井市、多摩市、稲城市の8市が
一丸となって、このプロジェクトを推進し、新たな価値を生み出します。





TOKYO TAMA 2020 LEGACY ROAD 東京多摩2020レガシーロード

「東京多摩2020レガシーロード」とは、東京2020大会で自転車競技のロードレースが行われた全長約244km（女子は約147km）のコースのうち、都内8市（八王子市、三鷹市、府中市、調布市、町田市、小金井市、多摩市、稲城市）を通る約38kmの区間のことで、2024年には国土交通省による自転車普及活動「GOOD CYCLE JAPAN」のサイクルツーリズム推進モデルルートにも認定されました。8市では今後もこのルートをレガシーとして後世に伝えていながら、地域資源としても活用していきます。サイクリングはもちろん、ウォーキングやドライブでも。世界的スポーツイベントの舞台となったコースにぜひ足を運んでみてください。

コース紹介

東京多摩2020レガシーロードは全長約38km。市街地、住宅街、川、公園とエリアごとにさまざまな表情が楽しめます。



東京多摩2020レガシーロードの魅力4選

1 熱戦の舞台を
駆け抜けられる特別感



世界各国の強豪選手たちがしのぎを削ったコースを、いつでも誰でも体験できます。

2 景色に変化を
もたらす適度な起伏



自然豊かな多摩丘陵の地形を体感できます。あの坂の先には一体どんな景色が!?

3 立ち寄りやすい
休憩スポットが充実



コンビニや公園など、水分補給、お手洗い、休憩に使える施設がたくさんあります。

4 人気のカフェや
スイーツも楽しめる



周辺にはコーヒーやパン、スイーツが味わえるカフェや飲食店も多数。